

ワインと農に魅せられ、自然に困まれた小諸の地で、ブドウづくりを注ぐ生産者たちがいます。その想いを、自身もワインづくりに取り組み小諸市農ライフアンパサダーの武藤千春が、お届けします。

#05

へ農業で人と人をつなぎ、ふれあいを生み出す」をコンセプトに掲げる Greve.t (グレーベ) は、2019年から耕作放棄地の開拓をスタートし、現在では約7ヘクタールの畑で栽培を行っています。今年の春には飯綱山公園にレストランやワイナリーをオープンし、複合施設スタラス小諸の運営もしています。今年初めて、自社醸造に挑戦する Greve.t で、栽培醸造家を務める小船さんは「周囲の人からはプレッシャーだよねと言われることも多いですが、貴重な経験ができてとてもラッキーだしありがたい。」と言います。現在、畑で作業するヘブドウチームは6名。コミュニケーションを多くとることで、良いチームワークが生まれ、仕事の中に

も楽しいと思える場所を作っているそう。「失敗して痛い目を見ても、ネガティブにならず次に活かす。農作業の苦勞もブドウの果実として実を結ぶなら、いい思い出としてピンと一緒に詰めたいです。振り返った時に過酷だったなと思うことも多いけど確実に経験値は上がっています。その経験をたくさん吸収するために、まずは自分の心を整えていきたいです。」〈思考〉と〈試行〉を止めずに走り続ける小船さんとヘブドウチームが造るワイン。飲めるのはもう少し先ですが、いろんな思いが込められたワインが待ち遠しいです。

はら
さち
続こ



Komorokko
Farm & Winery

株式会社 Greve.t
栽培醸造家

小船 睦巳さん

〒384-0041
小諸市大字諸字東房 151-1(ワイナリー)
☎/FAX 0267-41-0042(ワイナリー)